

サクラソウの花を観察しよう

サクラソウは花や株によって、その大きさや色などに違いが生じるため、江戸時代からたくさんの園芸品種がつくられ、栽培されてきました。

荒川流域のサクラソウはそれら園芸品種をつくるもとになった原種といわれるものです。多くの遺伝的な変異を持っているので、観察するときには、まわりの花と比べて違っているところや特徴を見つけてみましょう。

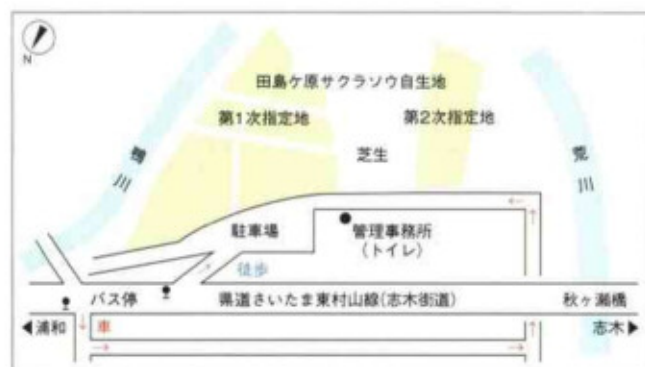
サクラソウの
花の色や形を
比べてみよう



田島ヶ原の植物について

田島ヶ原サクラソウ自生地は、サクラソウの自生地としては唯一の国の特別天然記念物です。大正9年(1920)に指定されて以来、自生地の保全のために、いろいろな取組が続けられています。

約4.1haの自生地には、サクラソウをはじめさまざまな植物が生育しています。その多くは湿性植物で、かつては荒川流域の低湿地に広く分布していましたが、現在ではここ田島ヶ原でしか見られないものも多くなっています。



観察の際は次の注意事項をまもりましょう。

- ①サクラソウ以外の植物も大切にしましょう。
自生地の動植物は採取しないでください。
- ②柵に上がったり、中に入ったりするのはやめましょう。三脚などのカメラの機材も柵の中に入れてください。
- ③ゴミは持ち帰りましょう。
- ④見学路へのバイク・自転車などの乗り入れや、また、ペット同伴での立入はご遠慮ください。

編集・発行 | さいたま市教育委員会 文化財保護課
電話 048-829-1723

作成協力 | 荒木祐二 さいたま市文化財調査専門員

このパンフレットは、10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は11円です。
2018.8.



国指定特別天然記念物

たしまがはら 田島ヶ原サクラソウ自生地 観察の手引き



さいたま市教育委員会



ノウルシ
(トウダイグサ科)

アマナ
(ユリ科)

ヒロハハナヤスリ
(ハナヤスリ科)

ツボスミレ
(スミレ科)

レンリソウ
(マメ科)

カラスノエンドウ
(マメ科)



ヒキノカサ
(キンポウゲ科)

ジロポウエンゴサク
(ケシ科)

春の田島ヶ原

春の自生地では、サクラソウの他にも
さまざまな植物が花を咲かせています。
今日はどの花と出会えるでしょうか。



カキドオシ
(シソ科)

ホトケノザ
(シソ科)



アマドコロ
(キジカクシ科)

トダスゲ
(カヤツリグサ科)

ムラサキケマン
(ケシ科)

ムラサキサギゴケ
(サギゴケ科)

ヘイチゴ
(バラ科)

ミツバツチグリ
(バラ科)



アリアケスミレ
(スミレ科)

ノジスミレ
(スミレ科)

スイバ
(タデ科)

チョウジソウ
(キョウチクトウ科)

カントウタンポポ
(キク科)

シロバナタンポポ
(キク科)